

令和5年3月24日 修了式 校長講話

校長先生から、令和4年度の修了式のお話をします。

1学期・2学期は「終業式」といいますが、3学期のさいごは「修了式」といいます。修了というのは、それぞれの学年の勉強をやり終えたという意味なので、今日は1つの区切りでおめでたい日です。

さて、2週間ほど前のさいごのお昼の全校集会の時に、「終わりよければすべてよし」という話をさせてもらいました。「終わりの時」を「良い感じ」にすごすことがとても大切です---という話です。1年間を振り返ってみると、上手くいってうれしかったことばかりではなく、上手くいかずにつらかったことも、きっと、たくさんあるはずです。だけど、「終わりの時」を「良い感じ」にすごすことができれば、いつまでもくよくよと心配したり悩んだりする必要はありません---という話です。

みなさんのこの学年の「終わりの時」はどうでしたか。「良い感じ」にすごすことはできましたか。

- 1 元気に笑顔ですごす。
- 2 気持ちの良いあいさつをする。
- 3 授業をがんばる。
- 4 わがまま言わずに、優しい気持ちでまわりの人を大切にする。

---これがさいごのお昼の全校集会の時に、校長先生からみなさんにお願いした「良い感じ」のすごし方です。「終わりの時」を「良い感じ」にすごすことができたという人は、胸を張って自分に拍手をおくりましょう。残念ながらあまり「良い感じ」ではなかったな---という人は、今からでも遅くありません。今日一日、ニコニコと明るく、さいごのいろいろをがんばって、友だちにも先生にも優しくしてすごしてください。そして、さいごは最高に気持ちの良いあいさつで終わりにしましょう。「終わりよければすべてよし」です。

今日は修了式。1つの区切りでおめでたい日なので、美味しいものでも食べさせてもらい、ゆっくりとお風呂につかってのんびりとして、ホッと一息つければいいなと思います。

そして、明日からは17日間の春休み。ゆっくり休み、時間に余裕がないとできないことをたくさんして、家族とたくさんの時間をすごし、新しい学年に向けての元気とやる気をたくさんたくさんしてください。ただし、好き放題にすごすのではなく、この後の生活指導の先生のお話や担任の先生のお話をよくきいて、気をつけなければいけないことにはしっかりと気をつけてください。充実した春休みを願っています。

新しい学年になったら、できなかったことがたくさんできるようになるといいですね。わからなかったことがたくさんわかるようになるといいですね。校長先生はいつもみんなに「頑張る子」でいてほしいです。校長先生はいつもみんなに「優しい子」でいてほしいです。そして、「強い子」に向かってたくさんたくさん成長していってほしいです。応援していますよ。